

人工知能(AI)を用いた呼吸機能検査(スパイロメトリー)診断法開発の研究について

現在、我々は京都大学医学部附属病院に通院しておられる患者さんを対象に以下の調査を施行させて頂いております。この研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会で、研究内容の科学性、倫理性について審査され承認を得ています。また、実施にあたっては京都大学医学部附属病院長の各研究機関の長の許可を得ています。

【対象】

2010年4月以降、2020年3月までに当院で呼吸機能検査を実施された18歳以上の方
性別、病気の重症度、治療の有無は問いません。

【研究実施期間】

研究機関の長の実施許可日から～2024年3月31日まで。

【研究の目的】

呼吸機能検査、特にその中で代表的なスパイロメトリーは、呼吸器疾患の診断に有用ですが、診断を補助する自動診断ツールがありません。また、検査を適切に行えたかどうかを自動判断する方法も極めて簡易なものしかありません。そこで本研究では、人工知能(AI)を用いてスパイロメトリー検査結果を正確に判別し診断補助・支援を可能とする自動診断プログラムの開発を行うことを目的とします。

【調査方法】

患者さんが既に日常診療で実施なさった呼吸機能検査の結果を、検査機器から計測データだけ抽出し分析を行います。この調査で患者さんの負担が増える事はありません。

【御協力頂きたい内容】

呼吸機能検査を行った際の年齢や体格といった基本情報、カルテ記載事項のうち呼吸器疾患病名などを転記させて戴くことについて、ご了承ください。

【不参加の自由】

本研究への参加を遠慮される患者さんは以下の問い合わせ先に御連絡下さい。データを削除致します。

【個人情報保護について】

データの匿名化を行う事で保護させて頂きます。

研究者は研究対象者登録表、および各データを対応可能な形として保管・管理します。患者さんには、新たな研究用患者番号を付し、患者名やカルテ番号など患者個人が特定できるものは記載しません。同意撤回後のデータは保管媒体より情報を消去致します。

尚、研究は当研究室とレナサイエンス社との共同研究として実施しますが、匿名化(個人情報などを抹消)した呼吸機能検査データに限り、レナサイエンス社により、人工知能(AI)による処理・解析を実施していただく予定です。呼吸機能検査データと共に提供されるデータは性別・年齢・体格等の情報のみであり、患者さん個人の情報が漏洩する可能性は皆無です。

情報提供先; 株式会社レナサイエンス社 取締役 内藤幸嗣、研究開発部研究員 加藤 翔

なお、本研究で収集した患者さんの情報は、将来の研究のために二次利用する可能性があります。ほかの研究に使用する場合は、新たに計画・実施される研究が、倫理委員会で承認された後に、ホームページ上で情報公開文書にてオプトアウトを行い、研究対象者が拒否できる機会を保障した上で実施します。

希望される方は本研究計画書、および研究の方法に関する資料を入手閲覧可能です。(他の患者さんの個人情報ならびに知的財産の保護に支障がない範囲内に限られます。)

【研究資金・利益相反】

この研究は、レナサイエンス社との共同研究として実施します。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。

【研究機関】

京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学

研究責任者:	平井 豊博	京都大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 教授
研究分担者:	佐藤 晋	京都大学大学院医学研究科 呼吸管理睡眠制御学 特定准教授
	内藤幸嗣	株式会社レナサイエンス社 取締役
	加藤 翔	株式会社レナサイエンス社 研究開発部研究員

【研究の主体及び問い合わせ先】

研究における窓口: 京都大学大学院医学研究科呼吸器内科事務局 (Tel) 075-751-3830
(E-mail) konai@kuhp.kyoto-u.ac.jp

病院の窓口: 京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口 (Tel) 075-751-4748
(E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp